**Mマガジン・サポーター（店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式ウェブサイトにてご確認下さい）**

| | | |
|---|---|---|
| **●公共機関** | | |
| ・区役所 | **中原区役所５Ｆなかはらっぱ** | 中原区小杉町 3-245　Tel.044-744-3113 |
| ・会館 | **川崎市国際交流センター** | 中原区木月祗園町 2-2　Tel.044-435-7000 |
| ・会館 | **川崎市生涯学習プラザ** | 中原区今井南町 28-41　Tel.044-733-5560 |
| ・会館 | **かわさき市民活動センター** | 中原区新丸子東 3-1100-12　Tel.044-430-5566 |
| ・郵便局 | **川崎井田郵便局** | 中原区井田中ノ町 25-1　Tel.044-766-9724 |
| ・郵便局 | **川崎ブレーメン通郵便局** | 中原区木月 1-31-5　Tel.044-455-1800 |
| ・郵便局 | **川崎木月郵便局** | 中原区木月住吉町 11-12　Tel.044-411-9800 |
| ・郵便局 | **川崎木月大町郵便局** | 中原区木月大町 11-27　Tel.044-722-3617 |
| ・放送局 | **かわさき FM** | 中原区小杉町 1-403 武蔵小杉タワープレイス　Tel.044-712-1791 |
| ・推進協議会 | **「音楽のまち・かわさき」推進協議会** | 幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー５階　Tel.044-544-9641 |
| **●元住吉西口（ブレーメン通り／井田中ノ町商店街通り）** | | |
| ・ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ | **元住吉コミュニティーセンター** | 中原区木月 1-29-18　Tel.044-422-3626 |
| ・音楽教室 | **SouleaveMusic School** | 中原区木月伊勢町 10-1 三起ビル 302　Tel.044-750-8992 |
| ・鉄板焼 | **ゆうき亭** | 中原区木月 1-28-16　Tel.044-434-6999 |
| ・ヘアサロン | **キャメルヘアーデザイン** | 中原区木月 1-32-10 中嶋ビル 1F　Tel.044-872-7375 |
| ・カフェ | **水谷珈琲** | 中原区木月 1-32-16 1F　Tel.044-577-4288 |
| ・音楽教室 | **ファミーユミュージック Studio** | 中原区木月 1-32-22 コトドオルウチダ 101　Tel.044-766-0184 |
| ・果物 | **フルッチョ** | 中原区木月 1-35-1　Tel.044-433- 3338 |
| ・楽器店 | **スミノ楽器店ショールーム** | 中原区木月 3-10-3　Tel.044-411-5516 |
| ・ドラム教室 | **ムールドラムス** | 中原区木月 3-10-20 永塚ビル 103　Tel.080-3354-3210 |
| ・コーヒー専門 | **MUI** | 中原区木月 3-13-2　Tel.044-767-1368 |
| ・イタリア料理 | **オステリアボッカーノ** | 中原区木月 3-17-16 新井ビル B1F　Tel.044-411-1003 |
| ・音楽教室 | **島倉 学ミュージックスクール** | 中原区木月 3-35-1ART FLATS B1F　Tel.044-567-5940 |
| ・音楽教室 | **有隣堂日吉センター** | 中原区木月 4-31-7　Tel.044-411-5701 |
| ・ｺｲﾝﾗﾝﾄﾞﾘｰ | **マンマチャオ元住吉店** | 中原区井田中ノ町 4-1 メゾンアッシュ　Tel.0120-027-217 |
| ・理容室 | **Hair Salon Airs** | 中原区井田中ノ町 5-3 関根ビル 1F　Tel.044-755-0273 |
| ・接骨院 | **井田名倉堂・栗山接骨院** | 中原区井田中ノ町 6-27　Tel.044-766-0850 |
| ・ヘアサロン | **波照間** | 中原区井田中ノ町 8-1　Tel.044-797-5692 |
| ・カフェ | **フォレストコーヒー** | 中原区井田中ノ町 33-1　Tel.044-754-1156 |
| ・時計・貴金属 | **つだとけいてん** | 中原区井田中ノ町 33-2　Tel.044-766-6022 |
| ・不動産 | **福街不動産** | 中原区木月祗園町 12-1　Tel.044-750-0409 |
| **●元住吉東口（オズ商店街通り）** | | |
| ・介護センター | **みずたま介護ステーション元住吉** | 中原区木月 2-2-3 メゾンミール元住吉　Tel.044-430-6963 |
| ・鍼灸院 | **和式整体＆整心の『響氣』** | 中原区木月 2-3-35 住吉名店センター 401 Tel.044-433-2880 |
| ・介護センター | **ツクイ** | 中原区木月 2-8-5MK ビル 1-B　Tel.044-431-0027 |
| ・古本・ＣＤ | **凸っと凹っと** | 中原区木月 2-10-3 205 ベンチャーマックス　Tel.044-411-7959 |
| ・動物病院 | **シリウス犬猫病院** | 中原区木月 2-10-6　Tel.044-789-9030 |
| ・調剤薬局 | **綱島街道薬局** | 中原区木月 2-16-10　Tel.044-750-0374 |
| ・イタリア料理 | **自在屋** | 中原区木月 4-10-6　Tel.044-433-5644 |
| ・STEAK | **ステーキグラム元住吉店** | 中原区木月住吉町 7-7　Tel.044-433-4129 |
| ・音楽教室 | **PCK Music Studio (桂 宏美ヴォーカル教室)** | 中原区木月住吉町 21-5 鈴木ビル 3F-D　Tel.070-5597-2230 |
| ・ライブハウス | **パワーズ 2** | 中原区木月住吉町 21-5　Tel.044-455-0007 |
| ・音楽教室 | **Studio An (スタジオ・アン)** | 中原区苅宿 4-48　Tel 045-312-3146( 横浜アオバ楽器 ) |
| **●武蔵小杉近郊** | | |
| ・紅茶専門店・喫茶室 | **Tea House ローズマリー** | 中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス 1F　Tel.044-733-1076 |
| ・蕎麦店 | **そば あさひや** | 中原区小杉御殿町 2-42-7　Tel.044-722-1768 |
| ・珈琲店 | **Cafe TEMO (テモ)** | 中原区上小田中 6-1-5　Tel.044-755-8234 |
| ・喫茶店 | **Coffee Spot Life (ライフ)** | 中原区上小田中 6-22-13　Tel.044-722-0024 |
| **●元住吉近郊・他** | | |
| ・喫茶室 | **シンフォニー** | 川崎市幸区矢上 11-1　Tel.044-599-3499 |
| ・調剤薬局 | **駒沢通り薬局** | 東京都目黒区中央町 2-40-8　Tel.03-6412-7318 |
| ・写真 | **PHOTO SHOP 銀嶺** | 東京都港区六本木 7-8-4　Tel.03-3408-5406 |
| ・レストラン&バー | **Public House ぴあにしも** | 川崎区小川町 16-15 ヒロサワビル 103 号　Tel.044-201-1668 |
| ・調剤薬局 | **オレンジ薬局川和町店** | 横浜市都筑区川和町 1218-1F　Tel.045-929-1005 |
| ・カフェレストラン | **カンファー・ツリー** | 横浜市中区海岸通 1-1 横浜貿易協会ビル　Tel.045-211-2200 |
| ・ジャズ喫茶 | **マシュマロ** | 横浜市中区山下町 214 巴里堂ビル 2F　Tel.090-2202-3294 |
| ・八百屋 | **八百屋ジャズ** | 東京都世田谷区等々力2丁目 16-14　Tel.03-3701-3860 |
| **●宮城県仙台 / 群馬県** | | |
| ・カフェ | **Antique cafe OLD TIME** | 宮城県多賀城市高崎 2-16-3　Tel.022-309-6728 |
| ・音楽教室 | **PCK Music Studio 大泉スタジオ** | 群馬県邑楽郡大泉町坂田 5-21-6　Tel.070-5597-2230 |

▲上記、サポーター記載は無料です。　※2025年4月22日現在

A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music
**Mマガジン**
2025年6月16日号
2025年5月16日発行
（毎月16日発行）
第124号
発行・編集人：塚田親一
編集：藤田順治／大場明弘
佐伯奈々重／江川公美
発行：音楽好きな友の会
川崎市中原区木月2-21-32
TEL 090-9398-2889
2025-5-16-800 Printing IT



●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories
# M MAGAZINE
音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/
後援
●川崎市中原区
●「音楽のまち・かわさき」推進協議会
●公益財団法人 川崎市国際交流協会

連載04
ヴァイオリン王子が贈る "Buono!"なヴァイオリンのお話
## 天才ヴァイオリニストは"逆ゴーストライター"？

Bouno Naoki
ヴァイオリン奏者　**坊野 称央己**

“美しきロスマリン”や“愛の喜び”など。ヴァイオリニストにとって定番レパートリーであり聴衆にも愛される作品を作った大ヴァイオリニストのクライスラー。彼はなんと30余年もの間、偽作を世に出し続けていた「逆ゴーストライター」（？）だったのです。

1875年に生まれ、趣味で室内楽を演奏する医師である父親をもつ家庭で育ちました。

彼は早くから才能を発揮しパリ音楽院をわずか12歳で卒業します。その後は医学の勉強をしたり、第1次世界大戦にオーストリア兵として従軍した時期もありました。戦地で重傷を負い、帰国後に『塹壕の四週間 あるヴァイオリニストの従軍記』という手記も出しています。（気になる方は是非読んでみてください）

そんなクライスラーは、デビューした後に演奏旅行先で歴史ある図書館などで埋もれていた作品を発掘し、それを演奏会にかけることを楽しみにしており、演奏するだけでなく作品の一部を自作に取り入れたりなどしながら「過去の（埋もれていた）作曲家の作品を再発見した」として世に数々の作品を出していきます。（「ボッケリーニの様式によるアレグレット」など）しかし、過去の作曲家の作品というのはなんと「ウソ」。自分の作品であるにもかかわらず過去の有名な作曲家の作品と偽り、発表していたのです。その理由については彼のいたずら心によるものであるとか、注目を集めるためにそうしたとか、諸説ありますが、本人は「プログラムに自分の名前ばかり並べるのは不遜に思えるし、他のヴァイオリニストが演奏しづらくなるだろう」と語っていたそう。

当時は手放しで賞賛していた音楽評論家たちも、「ウソ」の事実発表後は激怒。作品自体に対する評価も変えてしまうということもありました。クライスラーがついた「ウソ」は、自分の作品の評価を正当にしてもらうための意思表示だったのかもしれません。それにしても、作品名に使われた作曲家たちはとんでもなく名誉なことだと思いませんか？

13歳からヴァイオリンを始め上野学園大学音楽学部を卒業。アーティストサポートやイベントに多数出演する他、武蔵小杉・元住吉エリアにて出張レッスンやオンラインレッスンも展開中。

Violinist・坊野称央己
OfficialSite
naokibono-violin.com

連載01
サックスと私
## ずっとサックスを吹いて行くので 何処かで会ったら声かけてください

Yonezawa Mitsugu
ジャズサックス奏者：**米澤　貢**

これは、高校の卒業文集に書いた言葉です。

あれから50年の時が流れ今は、講師として、ストリートミュージシャンとして、YouTuber（チャンネル名　歌うストリートサックス）として、66歳の今も現役を続けています。僕のポリシーは「誰よりも良く歌うサックス」で、人の心に染み入るメロディーを奏でる様にしています。

高校で吹奏楽部に入りクラシック命の三年間を送る中で、大学のJAZZビッグバンドを聴きに行き、それまでJAZZはうるさい音楽だと思っていた僕は、そのバンドのアルトサックスのバラード演奏に電流が走る殆ど感動し、大学入学と共にその道に入って行きます。吹奏楽とは全く正反対の音色や奏法に四苦八苦しながら一年間、毎日4、5時間の練習を繰り返しなんとかJAZZらしい演奏が出来る様になりました。吹奏楽のままだったら今の様な演奏は出来ないし講師にもなってなかったと思います。

15年前にたまたま講師の仕事に就き、音大も出てない僕が長きに渡り活動できてるのは、サックスを始めようとする人の殆どがクラシック的な奏法を求めていないと言う事なんです。JAZZがカッコいい、演歌を吹きたい、J-POPや昭和歌謡をやってみたい人が殆どなのに、楽器店ではクラシック出身の先生に教わる事になり、なんか違うなぁーとなるんです。そして、講師をしていると生徒さんがやりたい曲が色々出て来ます。これを路上で演奏したらどうなるんだろう？と思って実際にやってみると、とても良い結果が出たのです。

それから15年間毎週の様に演奏をしています。沢山の人から「感動した」、「カッコ良かった」等のお声を頂きます。自分の趣味が人に喜びを感じて貰えて更に自分の身になる。こんな楽しい事はありません。これからは、世界一の長寿ストリートミュージシャンを目指し体力の続く限りやって行く所存です。



### 川崎市国際交流センター

**英語による国際理解講座**

ネイティブの講師が英語を使って、文化や国・地域について独自のテーマで講義します。さまざまな考え方や視点で文化や世界の情報を学べる講座です。

※写真はイメージです

●日時：6月14日（土）、21日（土）、28日（土）15:30～17:00
●参加費：3.300円（全3回分）
●定員：40名（先着順）16才以上
●申込開始：5月15日（木）より
ホームページ申込フォームから。6月3日（火）締切
●主催：川崎市国際交流センター

●お問い合わせ
公益財団法人川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000
E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp
ホームページ https://www.kian.or.jp/

### 川崎市生涯学習プラザ

**第149回ランチタイム・ロビーコンサート**

出演：二胡カンタービレ／二胡

［プロフィール］
中国の民族楽器、二胡の音色に魅了され、天華二胡学院・東京教室に通う仲間で結成、14年目となる。福祉施設、支援学校、地域のフェスなどで演奏活動を行っている。

●予定曲目
・スマイル
・采花
・コンドルは飛んでいく
・彩雲追月
・風になりたい
・一個人（風の子守唄）
・やさしさに包まれたなら
・東京ブギウギ

●日時：6月19日（木曜日）
12:00開場／12:10開演／12:40終演予定
●料金：無料
●場所：川崎市生涯学習プラザ・１Ｆロビー

●お問い合わせ
（公財）川崎市生涯学習財団 総務室 総務係 ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5560　E-mail: concert@kpal.or.jp
川崎市中原区今井南町28-41
ホームページ https://kpal.or.jp/

### 音楽好きな友の会（音友会）

**6月12日はチック・コリアの誕生日**

Fujita Junji
音友レコード倶楽部：**藤田 順治**

1941年6月12日はアメリカのジャズ・ピアニスト、チック・コリアの誕生日。彼が亡くなって早いものでもう4年が経つ。一番輝いていたのは1971年にベーシストのスタンリー・クラークと共に立ち上げた「リターン・トゥ・フォーエヴァー」時代である。

このグループが1972年のセカンドアルバム「Light as a Feather/Return to Forever」で収録の“スペイン”は、多くの演奏家にプレイされ続けている。その後、ジョン・パティトゥッチ（Ba）、フュージョン・ドラマーのデイヴ・ウェックル（Dr）と共に「チック・コリア・エレクトリック・バンド」、「チック・コリア・アコースティック・バンド」の活動を行っていた。亡くなった翌年の2022年2月9日にヤマハ銀座店にある「ヤマハ銀座スタジオ」（B2F）でこの『チック・コリア・アコースティック・バンド/フイルムコンサート』を見に行き大画面、素晴らしい音響で鑑賞した事を今でも想い出す。だが、私の中で一番印象に残っているのは現在、フュージョン界のボス的存在の一人であるジェフ・ローバー（Kb）が、バークリー音楽院でチック・コリアに師事されていた事である。ジェフ・ローバー・フュージョン2枚目のアルバム「Soft Space/Jeff LorberFusion」にはジョー・ファレル（Sax）と共にゲスト参加し“ザ・サンバ”“プロテウス”の2曲でミニモーグ・シンセサイザーを演奏している。

**♫ 2025年6月未定のお知らせ！！♫**
第127回音友レコード倶楽部は会場都合で未定です。
※詳しくは「音友会」のホームページでお知らせします。

**https://ontomo.jp**

**音友レコード倶楽部PR動画！**
**「音友レコード倶楽部」を**
**わかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。**

常連の参加者との共同製作です。
撮影、編集はギター奏者の永瀬晋が担当。
新規参加の前に、ぜひご覧ください。
YouTube配信中。

連載10 オカリナに誘われて
## 大切な応援団

Kotanagi Emiko
**小棚木 恵美子**

今までいろいろなところで演奏させていただきました。私の一番の応援団は、両親でした。ですが二人とも高齢になり、足も悪くなってきて、コンサートがあっても来られなくなってしまいました。昨年思い立って、両親が通うデイサービスで演奏させてもらえないかお聞きしたところ、快く良いですよと言っていただき、私は久しぶりに両親の前で演奏することになりました。さて、演奏するにあたり衣装はどうしようかしらと思って、私は今着物にはまっていまして、大好きな着物で行こうと決めました。着物なら正装感もあって、両親に着物姿も見てもらえるし、バッチリと思って出かけたのですが・・・施設で会った父からは 「なんで洋服じゃないんだ」と、怒られてしまいました。もういい年した娘が老けて見えると心配したようです(笑)せっかく着物でウキウキでいった私はちょっとがっかりしつつ、コンサートが始まりました。演奏し始めると、私も楽しくなってきて、施設に通ってる皆さんとおしゃべりしていたら、みんなの顔も笑顔になってきて、歌ったり、リズムとったり、すっかり怒られたことも忘れてました。そんな周りの人たちが喜ぶ姿を見て、父はとっても嬉しそうでした。母はもともと楽しいのが大好きなので、もちろん喜んでました。

こんな風に、いろんな方と楽しい時間を過ごせるのは幸せな事。ましてや、その時間を私発信で作っていけるとはなんと素敵な事でしょう。演奏の機会があると、今日はどんな素敵な出会いがあるのかなとウキウキします。今年は、両親だけでなく音楽が好きな高齢の方たちと一緒に楽しめるよう、訪問演奏にも力を入れていきたいと考えています。そこには、私のお父さんお母さんが沢山いるようで、音楽とともに幸せな気分になれるんです。

「思い通りに演奏できる!オカリナ上達のポイント50」監修出版。神奈川・東京を中心に演奏活動しています。
第二・四(水)、(金)には、武蔵中原駅近くのコーヒースポットライフにて、オカリナ体験できるレッスンや オカリナのお悩み相談を受けるレッスンやイベントを開催中♪
2025年4/9(水)、11(金)オカリナ吹こう会&花ミニライブを開催します。オカリナ持ってご参加ください。ご予約受付中です。
予約受付 090-2436-5985 花

Instagramも是非のぞいてください
https://www.instagram.com/emikokotanagi/

**Instagram**
@emikokotanagi

連載27 脱線ニューヨーク滞在記
## 思い出し寄り道編/1977年頃ブラジル

Demura Katsuaki
**出村 克明**

パーカッション奏者
コンセプチュアルアーチスト
現代アートでは空気、無を梱包して送る
エアメールアートを展開している。

前号からの続き。そのホテルで雑用をしている兄さんとは顔を会わすたびに下ネタポルトガル語が合言葉に。女の子達が四六時中おしゃべりしている小さなロービでも、彼と互いの国の下ネタ言葉を教え合い、僕が真面目顔でふつうに云うので女の子たちは可笑しくて大笑い。意味の知らない言葉のリクエストにも調子にのって応えていると、あんちゃんも女の子達も転げ回るほどの大騒ぎ。支配人はムッとした顔をしていましたが怒りませんでした。聞いていたのですかね。そんな事で女の子達とも親しくなり、僕に「あんたは細いからもっと食べなきゃだめ」(言葉が解らないけどこんな感じと)と乱暴にサンドウィッチを口に押し付けてくる優しい子もいました。実は彼女たちは夜にボアチェへ行って客を見つけこのホテルに連れてきての勤労女子だったのです。前号でこのホテルを探してくれたお嬢さんが「あそこ」と指差しニコニコしていた訳が何となく分かりました(注:ボアチェ=ラブ・フォー・セール(恋売り娘)達の集まるカフェバー)。一際陽気で声の大きいイタリア系の女の子は結婚する為のお金を貯めていると云っていました。日本の五円玉を持っていたので皆にあげると、穴の開いている硬貨を珍しがって喜んでいました。ごえんになりました。

▲LOVE FOR SALE/TONY BENNETT & LADY GAGA

その頃のブラジルはフォルクスワーゲンが多く走っていて、今は変わったと思いますが大体の車はアルコール燃料で走っていました、多分ブラジルはトウモロコシを沢山作っていたのでガソリンより安価だったかもです。アルコール車の排気ガスは匂いも独特でしたが目にはしみました。特にサンパウロはそうでした。そんな車を乗り回している元気のいい20代半ばの女性がそのホテルに逗留していました。 しばらくは気が付かなかったのですが、顔を合わせているうちに打ち解けて、彼女が日系三世と知り、ほかの子の様に夜の仕事をしている訳でもなく、謎でした。

彼女に「サンバを録音したいのだけど何処か知らないか」と尋ねると二つ返事で連れて行ってくれる事になり、ついでにあちこち車で案内してくれました。彼女は江戸っ子顔負けの威勢のいいサンパウロっ子で立ち寄った所々に知り合いがいてどこでもちゃっちゃっちゃと仕切ってました、そしてドライブ中知り合いなのかハンサムなディカプリオ風の男を見かけ車から降り一言二言話し瞬時にけっこう濃厚なキスをしてぱっぱっぱと車に戻り10秒前の映像が切り抜かれた様にアクセルをふかしました。そしてとある自動車修理工場へ着き、そこの社長とも知り合いらしく、彼女が説明すると、連中ならやってくれる的な事を云い

▲QUATRO GRANDES DO SANBA/名手達のサンバ

ながら自動車を修理してる二人の黒人男性を指さしました。すぐに彼女は姉御っぽく「こっちへこ〜い」と大きな声で命令してるように呼びました。大体は彼女が仕切るようになり「サンバやってみな!」ってな感じでした。楽器が無いので椅子と箱を叩いて歌ってくれました。二人は、演るごとにそれは古いとかリズムが去年のだとか云い合いながら録音に協力してくれました。すごく上手くて優しい連中でした。アフリカルーツのブラジル音楽、生のサンバを聞いて観ました。さしずめアメリカだったら綿畑の路ばたでブルースを聞く感じですかね。その後ホテルで彼女を見かけ無くなりました。 元気でチャキチャキの感じと不思議な感じが重なると云うシュールな形容なのですがそうでした。またまた魔女が現れたのか、ロビーでお喋りしてたい女の子達も魔女(夜は蝶)だったのか、あの掃除のおばあちゃんも箒にまたがってきたのか。イエマンジャ(ブラジルで一番人気の女神、アフリカから伝来したヨルバの神の一神)の化身だったのかとか勝手に想像する今日この頃、木の芽時のゆるさかな、と。

次号へ

▲YEMANJYA/海の女神イエマンジャ

連載03 ビッグバンドピアニストから見る風景
## レコーディングあれこれ

Hatoh Hideka
ピアニスト **羽當 英果**

社会人ビッグバンドに所属していた際、自分たちでプロデュースしたCDを出すために、レコーディングを2度体験しました。1度目は、入ってから割と直ぐで、全編オリジナルアレンジ。曲自体は知っているものが多かったのですが、オリジナルの譜面に随分と手こずりました。ギリギリまで原曲のイメージ+アレンジャーの意図、自分がどう弾きたいかの擦り合わせをずっと行っていたような気がします。

まだ今のようにYouTubeがない時代で、レコーディング=一生ものの記録として残す、と身構えていた事もありますが、週末中スタジオに篭りっぱなしで朝昼晩の区別もなし。セクションでひとブース、リズム隊は各人がブースに入って10曲近くを録音するのは、思った以上に大変でした。イメージとしては、コロナ中に流行ったシンクルームのような感じなのですが、当時の私は、顔を見合わせて近くで音を聞きながら演奏するのが常だったので、壁一枚でもこんなに遠く感じるんだ、と思ったのを今でもはっきり覚えています。

2度目は、1度目から10年後の事でした。ブースでのやりにくさを皆さん感じていたのか、皆で同じスペースで一斉に演奏し、良いものを使う方式になりました。私といえば、10年バンドに在籍して、色々なものに慣れたのか、オリジナル譜面の理解や解釈も固まり、ソロがある曲以外は、大分レコーディングを楽しめるようになりました。そして、顔を見合わせて演奏が出来ることに幸せを感じました。

レコーディングを経て思うのは、ディレクターの偉大さです。我々の場合は、コーチでいらしていたトロンボーンニストの早川隆章さんが二度とも仕切って下さいました。普段から見て下さっていた事もあるのでしょうが、限られた時間の中で、残すに値する演奏レベルの引き出し方や皆の集中力の持たせ方等、私たちの様子を見ながら、どんどん進めていく様子はさすがでした。

世の中、沢山のCDが売られていますが、レコーディングを通じて、販売されている数分だけのストーリーがある事を実感できた貴重な機会だったと今でも思っています。

▲Starts from M/Mondaynight Jazz Orchestra

▲J-TUNES/Mondaynight Jazz Orchestra

特別寄稿 Conversations 音友レコード倶楽部・音楽談議
## スティーヴ・カーンと「空想旅行案内人」フォロン- その2

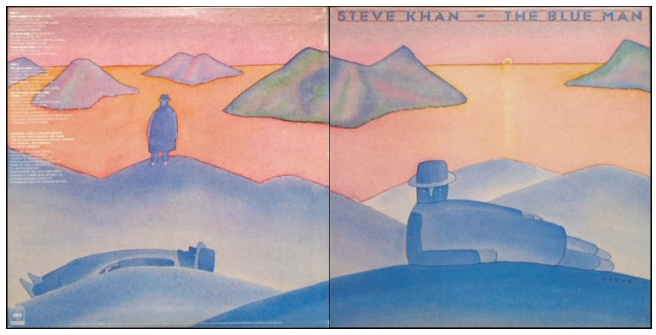
Fujita Junji
**DJ担当:藤田 順治**

2025年3月号で掲載したギターリストの続きです。

スティーヴ・カーンのアルバムで「THE BLUE MAN」(写真①)のジャケットは、フォロンが描いたのですが、ここでは『リトル・ハット・マン』という重要な位置をしめるモチーフのひとつが描かれています。フォロン本人の分身とも言われるぶかぶかのコートと帽子を身につけた姿がこのジャケットの中では、時に佇み、寝そべり、仰向きで寝ている。ただし、カーンにとって好きな描写でひとつだけというのは選べないというのが結論の様です。アルバムはカーン自身のプロデュースのオリジナル曲が多く、このあたりから彼の個性的な面が出てきた感があります。全体的な印象は当時流行りの硬質でソリッド、辛口なフュージョンです。またフォロンとは大変仲が良かった様でフォロンに捧げる曲"アイ・オーヴァー・オータム"を作曲しており、ここではスティーヴ・カーンとマイケル・ブレッカー (Sax)の熱のこもったバトルが聴けます。

次に「Crossings」(写真②)というアルバムをご紹介します。これは2曲のみがカーンの作品で残りはセロニアス・モンク(P)を始めとする「ジャズメン・オリジナル」や父親サミー・カーンのスタンダード曲"イッツ・ユー・オア・ノー・ワン"を取り上げ、彼が率いる『アイウィットネス』(アンソニージャクソン、デニス・チェンバース、マノロ・バドレーナ)の面々をバックに大変透明感のあるジャズ・ギターを奏でていて不思議な浮遊感覚と渋さが良く出ている作品です。ここでもマイケル・ブレッカーがゲストとして3曲に参加しなかなかのソロ演奏をしており、特に"アイ・ラヴ・パリ"はラテンリズムでけっこうノリノリ。フォロンのこのアルバム・ジャケットについてスティーヴ・カーンはライナーノーツにおいて次の様に語っており、自分の想いを絵の主題と重ね合わせその様に感じ取ってしまったのではないかと思われます。「この絵は、人間がその人生の中でどうしても乗り越えなければならないハードルのようなものを表している。そして最後のハードルが死である。私の父(有名な作詞家サミー・カーン)はまさにその最期の「クロッシング」をやってのけたわけだ。私は身近にいた父親を亡くし、彼と音楽的なことを話し合う機会を失ったが、無意識のうち自分の中にいる父親と話しているのかもしれない」

最後にフォロンはスティーヴ・カーンのアルバム・ジャケットとして、これらのオリジナル作品を提供し、絵画作品としては単独発表されていない事を申し添えます。



▲①The Blue Man/Steve Khan

▲②Crossings/Steve Khan

特別寄稿 Conversations 連載音楽談議
## ボランティアと生の音楽の楽しみかた
### 『音楽で伝える言葉』

Egawa Kumi
**料理研究家・ピアニスト:江川 公美**

こんにちは。

音楽がもたらす影響ってなんだろう?と思った時に思い出したことがあり、それは私の息子が昔に好きでよく見ていた音楽番組がありました。放送時間は10分と短いながらも、内容が印象的でした。それがNHK教育テレビで放送の音楽教養番組『ゆうがたクインテット』です。

宮川彬良さんと4体の人形たちが出演者となり、主に最初は舞台袖の日常の様子や人形たちが歌を歌うショートムービーから始まり、最後はコンサートで楽器の生演奏を実際に繰り広げるのが特徴です。表現の技術に感銘を受けたのと同時に、子ども達がクラシック音楽を身近に触れることができるのがステキな部分だと感じました。

印象的だった放送回にフラット(♭)と呼ばれるキャラクターがとあることがキッカケで怒っており、その様子を見たシャープ(#)、スコアと呼ばれる他の人形たちが「きっと僕たち何かしたからではないか」と思い謝りに行きます。しかし普通に謝るのでは気まずいので、音楽番組ならではの歌いながら場の空気を和ませようとします。その時に流れた曲が"歌えバンバン"。最後はみんなで一緒に歌ってフィニッシュを迎えた後に、シャープが大福を食べてごめんなさい、スコアが盆栽で切るハサミを折ってごめんなさい、と言いますが、フラットは包装材のプチプチを全部潰せないから怒っていただけで思わぬ告白にビックリして一連の流れが終わります。ですが音楽の力によって、自分の気持ちを正直に伝えることの大切さを私自身が受け取ったのを鮮明に覚えています。

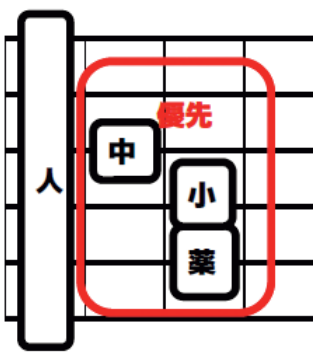
アニメーションを通して伝える表現は見たことがありますが、音楽で色んなことを解決していく新しい描写方法に、言葉だけが気持ちを伝える方法ではないんだと今も思う時があり、息子が当時見ていた番組をふと思い出してみる機会があったので紹介させていただきました。

大人になってから受け取り方が変わるように、音楽には聴いてる人を元気にするだけではなく、無限の可能性と強い力。そう思わせてくれたのが『ゆうがたクインテット』でした。

連載85 Course: Addicted to Guitar
## 改めてFコードを押さえるコツを考える

Nagase Susumu
ブルースロックピン芸人 **永瀬 晋**

いつもお世話になっております。今回も引き続きギターを始めたばかりの方への攻略コラムを紹介していきたいと思います。先日ギター仲間と会話をしていた際に「Fのコードって何年たってもしんどいよね…」という話題が出まして、改めてFコードを押さえるコツについて考えてみました。とりあえず何故難しいのかを考えると純粋に「指のパワーが必要」という事ですよね。あとはギターのコンディション「弦高」も非常に重要です。安いアコギは弦高が要注意です。今回はそういった楽器本体以外の、指の動きによる考え方でコツをご紹介。ポイントは「グループ分けして考える」です。コードというと全てのポジションをいっぺんに一瞬で押さえるという考えが普通だと思いますが、別の考え方として「同時ではあるが、別のグループ」と考えると指が動かしやすくなることがあります。具体的にはFの場合「人差し指とそれ以外の指」という考えになりまして、押さえる優先順位も日常的に良く使う人差し指は後回しで、まず「中指、薬指、小指」を優先するという考え方です。この優先順位を肝に銘じながらFコードを押さえると、気分的にちょっと楽になると思います。その他奏法も考え方を変えるだけで急に弾きやすくなったりすることもありますので、是非参考になればと思います!ではまた次回!



**ソウリーヴ・ミュージック・スクール**
**SouleaveMusic School**
**http://souleave-music.com/**
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992
レッスンは8:00〜22:00開始迄、詳細は要連絡

MOTTON CLUB
全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動を後押しが目的です。元住吉から世界に向けて配信しています。登録アーチスト募集中!! 演奏者の方々で「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画を募集しています。(近郊で企画、運営可能なスタッフも募集中)